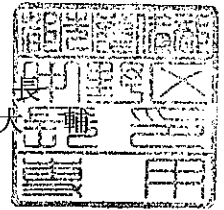


国土交通省道路局長
宮田年耕様

19 中都計第 172 号
平成 19 年 5 月 8 日

中野区
田中



道路整備の中期的な計画の作成にあたっての意見

日ごろより、道路事業に対するご指導、ご支援を賜り、お礼申し上げます。

都市部における道路基盤整備は、用地難や財源の問題などから遅々として進んでおらず、整備率は低く道路ネットワークが不完全な状態であり、交通渋滞や騒音・大気汚染の環境問題、さらには生活道路への車両進入により区民の日常生活に大きな影響を及ぼしています。

平成 16 年 3 月、東京都と 23 区で計画的な道路整備を促進するため、「区部における都市計画道路の整備方針」を定めました。区内における都市計画道路は、地域の幹線道路であると同時に都内全体の広域道路ネットワークにも位置づけられており、物流や移動、防災、環境保全の観点からも計画的な早期の整備が求められています。

中野区では、中野駅周辺で大規模開発を計画しており、周辺の交通環境を整える必要があります。また、駅周辺を中心とした放置自転車による道路の機能阻害やバリアフリー化の遅れなどの問題を抱えております。西武新宿線の連続立体交差化事業は、地域分断解消や渋滞対策、踏み切り安全対策のために、幹線道路の整備とともに大きな課題であり、促進に向け都、区、区民が連携して取り組んでいるところです。

中期計画の策定にあたりましては、都市部における道路基盤整備の状況及び課題を十分踏まえ、下記事項にご配慮いただき、整備促進に必要な財源確保をお願い申し上げます。

記

1. 災害に強い街づくりや都市の活性化を図るため、都市基盤を支える道路網としての都市計画道路の整備の促進支援をお願いします。
2. 西武新宿線による地域分断を解消するために、西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟を設立し、地域・議会・区が一体となって取り組んでいるところです。沿線道路の改善やまちづくりにも取り組む必要があります。財源確保が大きな問題でありご配慮をお願いします。
3. 警察大学校跡地や中野駅南口周辺などを中心に中野駅周辺地域において大規模開発を計画しており、東西南北方向からのアクセス道路など交通環境を整える必要があります。そのための特段の配慮をお願いします。
4. 日常の安全な歩行空間確保や景観への配慮のための、生活道路における電線類地中化事業の促進策の充実。
5. その他一般的事項
 - ・ 高度成長期に建設した耐用年数を迎える都市基盤の健全度の把握、予防保全や長寿命化など管理手法の確立や修繕に対する支援策。
 - ・ 誰もが快適に歩行・移動できるよう、十分な幅員を持つ歩道の整備、バリアフリー化の促進。
 - ・ 環境問題や渋滞緩和対策のひとつとして、自転車の活用をひろげる自転車通行空間ネットワークの形成。
 - ・ 安全で快適な歩行空間の阻害要因となっている放置自転車対策の強化。
 - ・ オンデマンド交通など新交通システムの導入の促進。